



◆◆◆忙しい中で子どもに関わるには◆◆◆

忙しい毎日の中で、子どもと質の良い時間を共有するためにはどうしたら良いでしょうか。そのヒントになるお話をしましょう。

ちょっと想像してみてください。職場に新人さんが入って来たとします。その人に仕事を教えることは、正直、時間と労力が必要でしょう。自分でやってしまった方が、よほど楽だと感じるかも知れません。でも、それでは仕事は忙しいままで発展性もありません。いくら面倒でも、1日も早く新人さんを一人前に訓練し、職場の戦力になってもらえるようにした方が良いに決まっています。

子育てにもこれと似たようなことが言えます。毎日忙しく家事に追われているお母さん方は、洗濯や買い物や料理や掃除など、やるべきことが山ほどあるでしょう。それでも、一所懸命に仕事を片付けて、残された僅かな時間を、子どもの為に使おうとするでしょう。でも、ここで考え方を少し変えてみることをお勧めします。もし子どもにもできるお手伝いがあるなら、少しずつそのやり方を教えて、一緒に時間を過ごすようにするのです。もちろん、あなた一人でやった方がずっと早く仕事は片付くでしょう。でも、あえてそうするのは、そして、お子さんに「手伝ってくれてありがとね!」とか、「良く出来たね! お母さん大助かり」などと声をかけるのです。そうすれば、お子さんと質の良い時間を共有することになり、親子関係がどんどん豊かになります。また彼らの自立のためにも大きな力となるのです。

例えば、もしカレーライスを作るとしたら、一緒にスーパーに連れて行ってください。そして「〇〇ちゃん、カレーを作るとしたらどんな材料が必要だと思う?」などと質問してみましょう。また、お子さんが小学生なら、包丁やピーラーの安全な使い方を教えて料理を手伝わせるのです。何度かやらせるうちに、やがて自分一人でも作れるようになるでしょう。そうしたら、「今度は一人でもできるんじゃない? 今度の土曜日に、お母さんに代わって作ってくれない!? 分からないときは教えてあげるから」などと仕向けてみるのです。きっと嬉しそうに「うん、やってみる!」と答えることでしょう。そして、子どもが初めて作ったカレーを食べながら、ことさらに褒めてあげるのです。

忙しい現代の親たちが、子供とかかわる時間の長さや質の両方を追求しようとしたら、こんな風にお手伝いをさせながら、時間と感動を共有することだってできるのです。



◆◆◆親の影響力◆◆◆

子どもの頃に受けた愛情は、その人の好き嫌いや趣味の世界にまで大きな影響を与えます。

以前、北海道での講演会で出会った20代の若いお母さんがこう言いました。「小さい頃の親とのかかわりって、自分の気付かないうちに、自分の行動のいたるところに影響してるんですね! 私、自分のメルアドに snow っていう文字を入れてるんですけど、それって、よく考えてみたら父親の影響だったんですよ。小さい頃、お父さんがいつも雪遊びをしてくれて、それで私、雪が大好きになったんです。だからメルアドに無意識に snow って入れてたんです。今頃になって、そのことに気付いたんです!」彼女はうれしそうにそう話してくれました。・・・聞いていた私はなんだかとてもうれしくなって、「そうなんですか〜。実は僕もおんなじなんです。北海道の人にとって雪はあんまりありがたくないかもしれないけど、僕は雪の北海道を車で走り回るのが全然苦にならないし、雪を見るのが大好きなんです。小さい頃、僕が生まれた横浜でも時々大雪が降ったんですが、雪が降ると、いつもは忙しくて滅多に遊んでくれなかった父が、一緒に雪遊びをしてくれたんです。それで今でも雪が大好きなんですよ。」

すると横にいたもう一人の若いお母さんが、「私は服を選ぶ時、いつも花柄を選んじゃうんです。どうしてなのか、今話を聞いて分かりました。小さい頃、私、両親とよくホームセンターで花の種や苗を買ってきて、庭に花壇を作ったんです。それがとってもいい思い出で、今ではアパートの庭先に娘と一緒に小さな花壇を作ってるんです。でも、それが服を買う時の選び方にまで影響してたなんて、いま話を聞いて初めて気付いたんです。小さい頃の親との関わりって、すごい影響力ですよ! もしかしたら、私の娘も将来、花柄の服を選ぶかもしれませんね!」そう言って彼女は、ちょっと照れてみせました。

この紙面は、下府中小学校PTA家庭教育講座として、連載をいただいています。

